



交通安全教育チーム “あゆみ” 活動の紹介

★交通安全ステージ



交通安全教育チーム“あゆみ”は平成15年5月1日に発足しました。

県内各地で開催される交通安全教室において、その対象に合わせた交通安全教育を行う専門のチームです。

“あゆみ”の由来は、**交通安全の知恵や知識を一緒に考え学びながら、無事故で「歩んで」いきたい**との願いから名付けられました。

★幼児に対する安全教育

基本的な交通ルールを守り、安全行動が実践できるように、**人形劇**などを通じ、子供たちにわかりやすく楽しんで聞いてもらえるような交通安全教室を開催しています。



★幼児の保護者に対する安全教育

幼児の保護者に対しては、家庭での交通安全教育の重要性を訴えるとともに、**子供の行動特性**を説明して、家庭での子供に対する効果的な交通安全指導方法のアドバイスなどを行っています。



★児童に対する安全教育



交通ルールを正しく理解し、安全に道路を通行できるよう、**歩行訓練**や**自転車訓練**を行っています。また、車の特性である死角や内輪差についても理解できるよう、実験を用いてわかりやすく説明しています。

★中学生・高校生に対する安全教育



ルール違反による自転車事故が多発していることから、二人乗りや携帯電話を使用しながらの運転等、ルール違反の危険性を実感させるとともに、**交通事故の加害者となった場合の責任の重大性**を認識させ、万が一事故を起こした場合に適切な措置がとれるよう、具体的な指導を実施しています。また、近い将来、運転免許を取得する世代であることから、**車社会に対応できる人間形成をねらい**とした指導も行っています。

★高齢者に対する安全教育

歩行者教育用シミュレータ



加齢に伴う身体機能の変化が行動に及ぼす影響や、交通ルールを守ることの必要性を理解させるための各種シミュレータ等の機材の活用や、交通安全寸劇を通じて、道路を利用する際の注意点等を分かりやすく解説しています。

歩行者教育用シミュレータは、CGIによる仮想の道路交通環境が3面ディスプレイに表示され、体験者は道路歩行の危険性を疑似体験できます。安全な歩行に必要な観察能力や危険予測能力を高めることを目的としています。

運転シミュレータ



安全な道路の横断方法や自転車の安全な乗り方など、**参加・体験・実践型**の交通安全教室を開催しています。

また、加齢に伴う身体機能の変化を自覚していただくために、**可搬型運転シミュレータ**を活用し、高齢ドライバーに対するアドバイスも行っています。

自転車教室



交通安全寸劇



★交通安全教育車を活用した交通安全教育



交通安全教育車「セーフティ愛知あゆみ号」には、各種交通安全資機材が装備されており、ゲーム感覚で楽しみながら、**身体機能の変化**を確認したり、交通ルールを学ぶことができます。



1 運転・歩行能力診断

ランダムに光るボタンを素早く認識して押すことで、「認知・判断・動作」能力を診断する機器



2 動体認知診断

パソコン画面上に表示される速度、大きさが変化する図形を追いながら、動体に対する認知率、正確な反応、見落とし等の視覚機能を診断する機器



3 自転車シミュレータ

ハンドル、ブレーキ、ペダルを操作し、画面を見ながら自転車走行を体験し、交通ルールや安全な通行方法を学ぶ機器

4 その他

必要に応じて、運転シミュレータを設置することができます。
また視聴覚機材を放映する、46インチテレビやDVDプレーヤー等を装備

※ あゆみ号の運用には、高さ3.5m以上、約7m四方のスペースが必要となります。

あゆみ[®]の要請は、開催地を
管轄する警察署の交通課総務係にお問い合わせください。交通安全教育チーム「あゆみ」